

AURAL / ORAL FLUENCY CLASS

講師： リチャード・ネデルコフ MA ELT (東京藝術大学音楽学部・言語芸術学科講師)

総合目標： **F = FUMES²**

Fluency = (Freedom + Understanding + Motivation + Experience + Structure)²

流暢さ=(自由 + 理解 + やる気 + 経験 + 構造)²

Term	Definition
F reedom	Practice within minimal structural constraints 最小限の模範的な英文を示して会話練習する
U nderstanding	Grammatical comprehension & awareness of pronunciation “rules” 文法と発音の規則を理解する
M otivation	Havin’ fun! (but always with some specific purpose or function as an aim) とにかく楽しむこと！(ただし、常に目的意識を持つこと)
E xperience	Just doin’ it! (task-based language production) とにかく話す！(課題に合わせて文を作っていく)
S tructure	Practice within a given structure to enhance linguistic competency 英語の力を伸ばすために、与えられた構文を使って練習する
2	Repetition (while avoiding tediousness!) とにかく反復する(ただし、退屈にならないように)

—反復は記憶力と熟達の母なり—

中1 教材： *Don Quixote* / ドン・キホーテ (セルバンテス)
Small Talk Jazz Chants, Dialogs & Drills I

中2 教材： *Around the World in 80 Days* / 80日間世界一周 (ジュール・ヴェルヌ)
Dialogs & Drills I, Small Talk Jazz Chants

中3 教材： *Animal Farm* / 動物農場 (オーウェル)
Dialogs & Drills I, Small Talk Jazz Chants

高1 教材： *1984* (オーウェル)
Dialogs & Drills II

高2 教材： *Brave New World* / すばらしき新世界 (ハックスリー)
Dialogs & Drills II, News Listening & Speaking

高3 教材： Tokyo University mock listening exams, *News Listening & Speaking*
Dialogs & Drills III, Paragraph & Essay Writing, E-writing, Freespeaking

新高1 教材： *Dialogs & Drills I, Small Talk Jazz Chants*

新高2 教材： *Dialogs & Drills I, Dialogs & Drills II, Small Talk Jazz Chants, News Listening & Speaking*

SMALL TALK JAZZ CHANTS :

ジャズ・チャント(Jazz Chant)とは、一般的なアメリカン・イングリッシュの会話で、文の前後関係や状況によって発生するリズムカルな(発声)表現のことです。

言語ツール *Jazz Chants* は、口語アメリカン・イングリッシュにおける抑揚、およびリズムパターンを正しく認識させるために開発されました。

区切られたジャズ特有のビートやテンポは、言葉のアクセントやリズム、さらにはそこに込められた感情を、実に多様に印象深く伝えることを可能にします。また抑揚パターンは、言葉を発する話し手の意図や感情を表現するために必要不可欠な要素です。そこで、これらを習得するための革新的で画期的な方法として *Jazz Chants* が産み出されました。

チャントの訓練は、日常会話で使われる表現をジャズの音楽に合わせて積極的に発声するエクササイズを行い、聴き取りづらい子音や母音を、対比しながら識別することをめざします。

THE SOUNDS OF AMERICAN ENGLISH

口語のアメリカン・イングリッシュでは、発声されるはずの音が、間延びしたり、縮まったり、混ざり合ったり、時には省略されることすらあります。これらの微妙な特性を習得することは、きちんとした言語学(母国語)教養を持ったネイティブ・スピーカーから自然な会話レッスンを受けるか、特に聴き取りの力を十分につけている場合以外は、生徒達にとって大変困難な作業です。

例えば、“Jeet yet ?” という音は、実はそれが “Did you eat yet ?” というセンテンスを発声したものだという理解がないかぎり、つまり、リスニングをきちんと習得していないかぎり、そこに何の意味も見いだせません。また別の例として、音を混合させてしまうケースもあり、例えば “I’m going to...” を “I’m gonna...” と発声することがあります。

Small Talk は、このような会話の言葉と書き言葉の違いを理解する手助けとなり、また *Jazz Chants* は、とくに聴き取りの力をつけるために役立ちます。

DIALOGS & DRILLS

本書は、語彙と流暢さを養うエクササイズをスキル別に三段階に分けて、英語能力と日常的な英会話力をつけるための教材です。

内容は、口語表現や慣用句(とくに前置詞句を使った言い回し)、すなわちあらゆる状況に応用のきく、典型的な、記憶し易い言い回しなど、一般に常用されている英語に的を絞っています。

毎回行われるレッスンで、模範的かつ即興的なエクササイズを行い、習ったパターンや語彙を使いながら、練習を重ねます。

シリーズの Volume I は、英語の構造や文法への理解がまだごく限られている生徒を対象とします。過去に学習した内容を確実に吸収し、同時に、英語の自然なリズムと流れを感じとる感覚を育てるためには、広範囲にわたる口頭練習を必要とします。現代的で日常的な語彙を使って基本的な構文を紹介しています。

Volume II は、語彙の拡張と、英会話の自然さや滑らかさを集中的に学習する必要のある中級レベルの生徒を対象とします。広範囲に渡る慣用句、口語表現のしかたを紹介しています。

Volume III は、現代口語表現を正確に使える上級の生徒が更にスキルアップを図るための内容です。

NEWS LISTENING & SPEAKING

これは、英会話で頻繁に使われる語彙や文法的な構造パターン、さらには慣用句などを使った英語らしい言いまわしを、レベル別に分けている教材です。

現代的かつ日常的な言いまわし、構造パターン、語彙を、ニュースを使ったシンプル(軽いという意味ではなく)な方法で、広い範囲にわたって紹介しています。これらのニュース・ストーリーは、生徒達が興味を持って、また実際に応用できる内容を基にしており、あらゆる分野から選択されています。

このシリーズは、英語の基礎は身につけているが、口語英語を十分に訓練しておらず、したがって自信がっていない生徒を対象としています。したがって、レッスン教材は、日常会話に頻繁に使われる語彙レパートリーを、トピックを使って紹介しながら、きわめて重要な文法を見直せるようにデザインされています。